

平成17年度 第33回 茨城県ミニバスケットボール選手権大会 組合せ・結果 (男子)

11/23(水) A・B・Cコート(笠松運動公園体育館)D・Eコート(スポーツセンター)
 11/26(土) A・B・Cコート(笠松運動公園体育館)
 11/27(日) A・Cコート(笠松運動公園体育館)

- 9:15~
- 10:20~
- 11:25~
- 12:30~
- 13:35~
- 14:40~

11/27(日)
(笠松)

11/26(土)
(笠松)

11/23(水)
(スポセン)

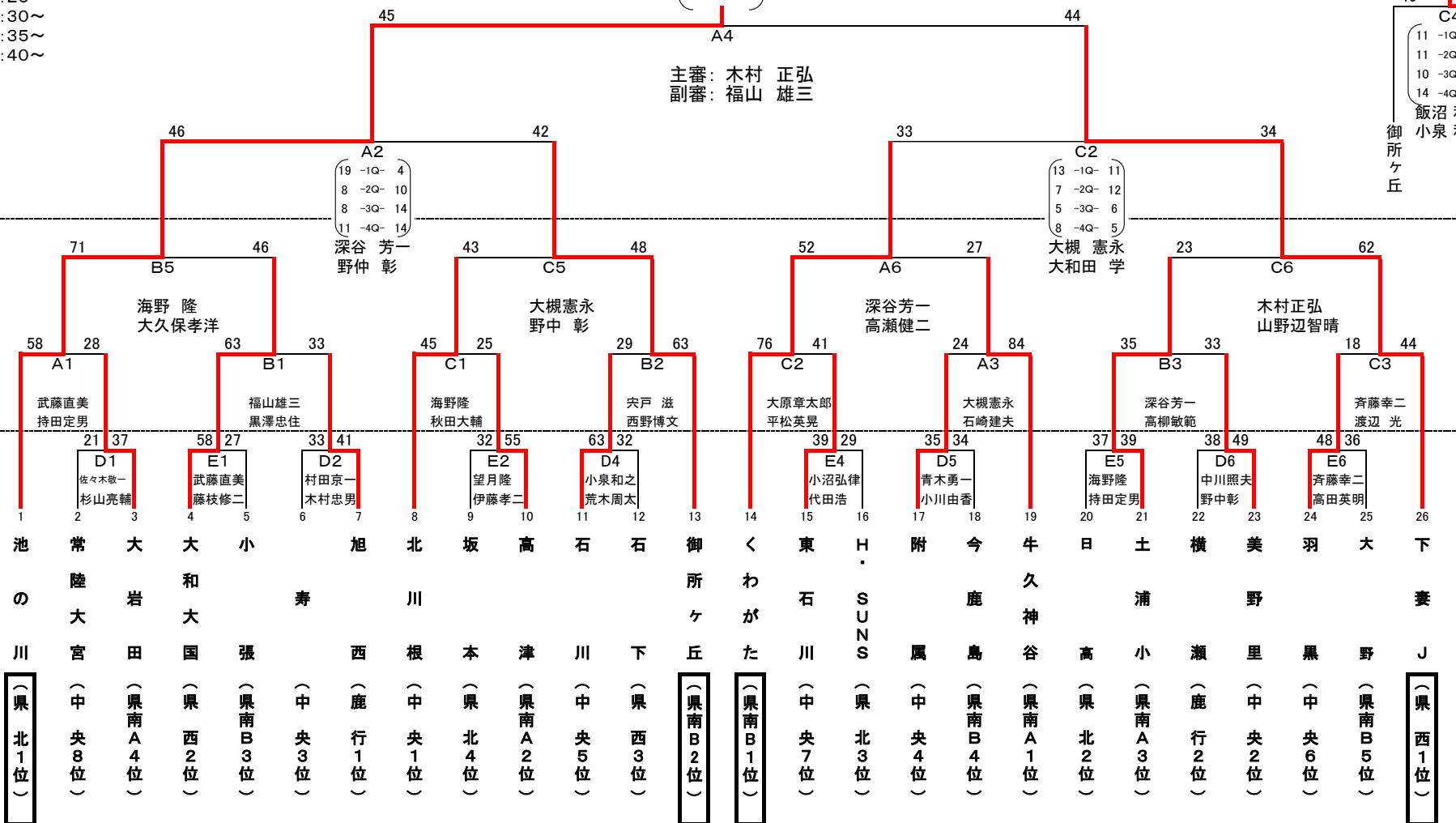
優勝 池の川

45 9 -1Q- 15
9 -2Q- 10
9 -3Q- 12
15 -4Q- 5
3 延長 2

(出場枠)26チーム
 中央:8 県南A:4 県南B:5
 県北:4 鹿行:2 県西:3

3位決定戦

46 47
 C4
 11 -1Q- 22
 11 -2Q- 6
 10 -3Q- 17
 14 -4Q- 12
 飯沼 和之
 小泉 和之
 御所ヶ丘
 くわがた



決勝戦選評(大竹重信氏筆)

- ⑨同士のジャンプボールで池の川のフリースローから始まる。ディフェンスは両チームとも素晴らしく、又④同士の競り合いも見応え十分。リズムに乗った下妻が6点リードで終了。
 - 池の川⑤のスピードを生かして反撃、中盤速攻を連続させ1点差まで詰め寄る。池の川残り1分で7ファール。下妻反攻に移り点差を7点まで広げて前半を終了。
 - お互い好ディフェンスを展開。下妻⑧のシュートが決まり点差を更に広げ10点リードで最終Qへ。
 - 池の川④を中心に反撃。残り1分で5点差、20秒で3点差も④ファールで退場。下妻必死の逃げ込みも残り時間0秒にてシュートファール。2点下妻リードで池の川2ショット獲得。池の川⑤ベンチ・観衆見守る中見事に2本とも成功、延長戦へ突入。
- 延長 池の川フリースローの1投と⑨のゴールで3点リード。下妻の追い上げもフリースローが2回とも1投ずつしか決まらず1点ビハインド。下妻の逆転を狙ったロングシュートもリングを外れ終了のホイッスル。池の川が今大会一的好ゲームを延長の末逆転で勝利し、そして選手権を挽ぎ取った。